

主催：環境省・福島県立医科大学・経済協力開発機構／原子力機関

## 放射線と甲状腺がんに関する国際ワークショップ

東京、品川プリンスホテル

2014年2月21日(金)～23日(日)

1日目： 2月21日(金) (品川プリンスホテル15階会議室「トパーズ15」)

放射線と甲状腺がんに関する国際ワークショップ；教育講演セッション

12:30 開場

13:00 環境省挨拶

13:05 福島県立医科大学挨拶

13:10 経済協力開発機構・原子力機関(OECD/NEA)挨拶

13:15 セッション 1：放射線と甲状腺がん

共同座長：長瀧 重信(長崎大学、日本)、

Emilie van Deventer(世界保健機関(WHO))

13:25 1-1 放射線誘発甲状腺がんの概要

発表者：Christoph Reiners(ヴェルツブルグ大学病院、ドイツ)

14:10 1-2 福島県「県民健康管理調査」の概要

発表者：安村 誠司(福島県立医科大学、日本)

14:55 休憩

15:25 1-3 福島原発事故に関連する甲状腺がん疫学の概要

発表者：Joachim Schüz(国際がん研究機関(IARC))

16:10 1-4 甲状腺がんの臨床的特徴の概要

発表者：宮内 昭(隈病院、日本)

16:55 1-5 複雑な放射線状況下におけるステークホルダーとの対話

発表者：Gaya Gamhewage(世界保健機関(WHO))

17:40 討論と質問

18:00 閉会

2日目： 2月22日（土）（品川プリンスホテル15階会議室「トパーズ15」）

放射線と甲状腺がんに関する国際ワークショップ

09:30 セッション 2：福島県被災住民の被ばく線量推計

共同座長：明石 真言（放射線医学総合研究所、日本）、

Joanne Brown（放射線化学・環境ハザードセンター、英国）

09:40 2-1 WHO 甲状腺被ばく線量推計

発表者：Emilie van Deventer（世界保健機関（WHO））

10:00 2-2 福島県民健康管理調査の「基本調査」における外部被ばく線量推計

発表者：石川 徹夫（福島県立医科大学、日本）

10:20 2-3 放射線医学総合研究所による甲状腺の内部被ばく線量推計

発表者：栗原 治（放射線医学総合研究所、日本）

10:40 2-4 甲状腺の内部被ばく線量評価

発表者：床次 眞司（弘前大学、日本）

11:00 休憩

11:30 討論

12:00 昼食

13:00 セッション 3：甲状腺超音波検査と甲状腺がん

共同座長：神谷 研二（広島大学、日本）、

Mykola Tronko（国立医学アカデミー、ウクライナ）

13:10 3-1 福島県での甲状腺超音波検査

発表者：鈴木 眞一（福島県立医科大学、日本）

13:30 3-2 山梨県での甲状腺超音波検査と潜伏甲状腺がんのレビュー

発表者：志村 浩己（福島県立医科大学、日本）

13:50 3-3 韓国での小児甲状腺がん：最近の調査結果

発表者：Jae Hoon Chung（成均館大学医学部、韓国）

14:10 休憩

14:40 討論

15:10 セッション 4：甲状腺がんのリスク評価

共同座長：酒井 一夫（放射線医学総合研究所、日本）、

Roy Shore（放射線影響研究所、日本）

15:20 4-1 福島県における超音波検査と甲状腺がん

発表者：Peter Jacob（ヘルムホルツ・ゼントラム・ミュンヘン研究センター、ドイツ）

15:40 4-2 疫学研究における甲状腺被ばく線量推定

発表者: André Bouville (国立がん研究所、米国)

16:00 4-3 チェルノブイリ原発事故での胎児の甲状腺がんのリスク

発表者: Maureen Hatch (国立がん研究所、米国)

16:20 討論

17:20 終了

18:00 レセプション

**3日目： 2月23日(日) (品川プリンスホテル15階会議室「トパーズ15」)**

**放射線と甲状腺がんに関する国際ワークショップ**

09:30 セッション 5: 原発事故後の放射線誘発小児甲状腺がんに関する知見

共同座長: 佐々木康人 (日高病院腫瘍センター、日本)

Thierry Schneider (原子力防護評価研究所、フランス)

09:40 5-1 原爆生存者における小児甲状腺がん

発表者: Roy Shore (放射線影響研究所、日本)

10:00 5-2 チェルノブイリ原発事故後のロシアでの小児甲状腺がん

発表者: Victor Ivanov (医学放射線研究所、ロシア)

10:20 5-3 チェルノブイリ原発事故後のウクライナでの小児甲状腺がん

発表者: Mykola Tronko (国立医学アカデミー、ウクライナ)

10:40 5-4 チェルノブイリ原発事故後のベラルーシでの小児甲状腺がん

発表者: Yuri Demidchik (ベラルーシ卒業教育医学アカデミー、ベラルーシ)

11:00 休憩

11:30 5-5 マーシャル諸島での小児甲状腺がん

発表者: Ashok Vaswani (エネルギー省、米国)

11:50 5-6 東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究計画

発表者: 祖父江 友孝 (大阪大学、日本)

12:10 討論

12:30 昼食

13:30 セッション 6: ステークホルダーの関与

共同座長: 丹羽 太貫 (福島県立医科大学、日本)、

Michael Siemann (経済協力開発機構/原子力機関 (OECD/NEA))

13:50 6-1 福島原発事故後におけるステークホルダーとの経験

発表者: Jacques Lochard (国際放射線防護委員会 (ICRP))

- 14:10 6-2 フランスノードコテンチン研究からの経験：被ばく線量評価及びリスク評価研究  
の立案、実施及び評価におけるステークホルダーとの関与  
発表者：Thierry Schneider（原子力防護評価研究所、フランス）
- 14:30 6-3 福島原発事故後の川内村での復興と再建モデル  
発表者：高村 昇（長崎大学、日本）
- 14:50 休憩
- 15:20 6-4 福島医科大学におけるリスクコミュニケーション活動  
発表者：松井 史郎（福島県立医科大学、日本）
- 15:40 6-5 個人リスク評価の科学  
発表者：Wesley Bolch（フロリダ大学、米国）
- 16:00 討論
- 16:30 ワークショップの結果の要約
- 17:00 閉会の挨拶
- 17:10-18:10 プレスカンファレンス